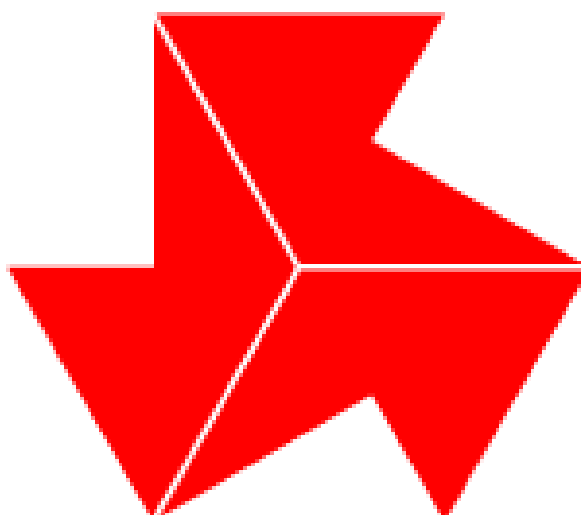


感染拡大予防 ガイドライン



このガイドラインは、令和2年6月3日付け茨城県教育庁学校教育部保健体育課から出された「代替大会の開催における感染拡大予防のための運営方針」に基づくものである。

茨城県高等学校体育連盟水泳専門部

目 次

- 1 【大会 前】 全般的な事項について
- 2 【大会 前】 参加募集時の対応について
- 3 【大会当日】 起床 ⇒ 出発 ⇒ 競技会 ⇒ 帰宅
 - (1) 起床したら・・・
 - (2) 集合
 - (3) 朝の入場
 - (4) 更衣室では・・・
 - (5) トイレでは・・・
 - (6) 控え場所では・・・
 - (7) W - u p
 - (8) 開会式（閉会式）
 - (9) 招集所では・・・
 - (10) 応援
 - (11) 食事
 - (12) 清掃
 - (13) ミーティング
 - (14) 解散
 - (15) その他
- 4 【大会 後】 大会開催後について

1 【大会 前】 全般的な事項について

留意事項	主催者（各競技専門部等）の対策
全般的な事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各競技団体からの競技特性に応じたガイドラインを参考に、感染拡大予防のための必要な取組を実施する。 ○ 会場内の人数が増えて密にならぬよう、関係者や応援者の人数を制限する。 ○ 参加者がマスクを準備をしているか確認するとともに、運動時以外においてはマスクの着用を求める。運動中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、マスクを着用して運動を行った場合は、熱中症のリスクが高くなることを周知する。 ○ 大会前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。 ○ 各事項の遵守事項を掲示し、換気設備を適切に運転し十分な換気を行うなど、会場内を定期的に巡回・確認する。 ○ 万が一感染が発生した場合に備え、参加者から提出された健康チェックシート（個人情報）は、保存期間（少なくとも1月以上）を定め適切に管理する。 ○ 大会開催前後における地域の感染拡大状況について注視し、開催自治体の衛生部局と対応について事前に検討しておく。

- 会場内には、選手・引率顧問・大会関係者のみとし、保護者等の応援・観覧者は入館できないものとする。（無観客で大会を行う。）
- 三つの密（密閉・密集・密接）を避けるため、人と人との間隔はできるだけ2mを目安に開ける。

2 【大会 前】 参加募集時の対応について

留意事項	主催者（各競技専門部等）の対策
参加募集時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染拡大予防のために参加者が遵守すべき事項を明確にし、協力を求める。また、遵守できない参加者には、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。 ○ 参加者に保護者の参加同意書（様式は任意）、健康チェックシート（別紙）の提出を求める。 <p>【以下の事項に該当する場合は、参加見合わせを求めること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合） ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
準備品	アルコール等の手指消毒剤（受付窓口に設置）、用具等の消毒剤、ハンドソープ、拭き取り用布巾、ビニール袋や手袋、体温計等

留意事項	参加者（生徒・指導者等）の対策
参加募集時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者は、生徒・保護者の意見を尊重した上で参加の有無を検討する。 ○ 指導者は、大会の感染症対策を確認するとともに、生徒・保護者に周知する。 ○ 生徒は、参加校等で作成された保護者の参加同意書（様式は任意）及び健康チェックシート（別紙）を各学校に提出する。
準備品	マスク、タオル、ゴミ持ち帰り用ビニール袋
遵守すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスクの着用（スポーツの実施中は、マスクの着用はしなくてもよい。） ○ こまめな換気と手洗いや手指消毒を行う。 ○ 人と人との間隔を、できるだけ2mを目安に（最低1m）距離を確保する。 ○ 更衣室、休憩・待機スペースでの使用留意事項を遵守する。 ○ タオルなどを共有しない。 ○ 飲食時は他人と取り分けず、回し飲みをしない。また、飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない。 ○ 全てのゴミは各自で持ち帰る。

- 大会に来場する選手（マネージャーも含む）、引率顧問の先生、競技役員、その他大会関係者には、「健康チェックシート」の提出を求める。2日間の開催であれば、2日間とも「毎朝の受付時」に提出することを義務付ける。（要押印）
- 引率顧問の先生は、大会に来場する選手（マネージャーも含む）全員分の健康チェックシートを回収・確認し、受付へ提出をする。万が一、発熱や体調不良等の選手がいた場合は、入館できない。事前にその旨、選手・保護者へ伝える。

別紙

【対象者：生徒、指導者、役員、関係者、大会運営者】

健康チェックシート

本健康チェックシートは、中学校体育連盟、高等学校体育連盟、特別支援学校体育連盟及び高等専門学校体育連盟（以下、各連盟という）が開催する大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。
本健康チェックシートに記入いただいた個人情報については、各連盟が、適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、会場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を事前に第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所に提供することがあります。

◎ 基本情報	
フリガナ 氏名	年齢（ ） 学校名 (所属)
住所	電話番号 (大会参加者が不在の場合は、保護者の電話番号)
イベント当日の休温	
<input type="text"/> 度、 <input type="text"/>	
◎ 大会前2週間における健康状態 ※該当するものに「✓」を記入してください。	
ア 平熱を超える発熱がない。	オ 体が重く感じる、疲れやすい等がない。
イ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状がない。	カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。
ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない。	キ 同家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
エ 嗅覚や味覚の異常がない。	ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。
(大会参加者が未成年の場合) 保護者 確認欄 保護者氏名 _____ 印 _____	

※ 本健康チェックシートは、大会主催者が1日以上保管すること。

3 【大会当日】起床 ⇒ 出発 ⇒ 競技会 ⇒ 帰宅

留意事項	主催者（各競技専門部等）の対策
当日の参加受付時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加校と役員等に健康チェックシート（別紙）の提出を求め、内容の確認を行う。 【大会前2週間前における以下の事項】 ・平熱を超える発熱 ・咳、のどの痛みなど風邪の症状 ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難） ・嗅覚や味覚の異常 ・体が重く感じる、疲れやすい等 ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
当日の参加受付時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないよう呼びかける。場合によっては体温計測で入場を制限する。 ○ 並ぶ時等は、参加者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）保てるようにする。

(1) 起床したら・・・

- ① 検温を行う。（37.5℃以上ある場合は、来場を見合わせる。）
- ② 健康チェックシートに基づき、体調のチェックを行う。
- ③ マスクを着用し、自宅を出発する。

(2) 集合

- ① 移動の際には、三つの密を意識し、人と人との間隔を十分にとる。
- ② 公共交通機関を利用する際は、上記①と合わせて、会話も控える。車やバスでの移動の際は、車内の換気にも十分配慮し、定期的に換気を行う。

(3) 朝の入場

- ① 入場前の整列について、最低でも1～2mの間隔をあける。(前後左右に両腕を伸ばし、人と接触しない程度の距離) 2列で整列を行う。会話も控える。
- ② 入館する際は、消毒液により手指を消毒する。
- ③ 「おはようございます」等のあいさつは、目礼でよい。おしゃべりをして、目礼すら無いのは失礼である。
- ④ 通常の大会運営と同様に、走っての場所取りは禁止する。

(4) 更衣室では・・・

- ① 三つの密を意識し、人と人との間隔を十分にとる。
- ② 更衣のみを行い、長く滞在することを禁止する。会話も控える。
- ③ 自分の荷物を置かない。
- ④ 貴重品を持ち込まない。
- ⑤ ドライヤー等の乾燥機設備については、使用禁止とする。

(5) トイレでは・・・

- ① 通常の大会運営と同様に、キレイに使用すること。(汚さない！)
- ② 手洗い場では、こまめにうがい・手洗いを行うこと。手洗いについては、ハンドソープを利用して「30秒以上」洗うこと。
- ③ 使い捨てタオルや乾燥設備等はないため、各自のタオルでよく拭くこと。

(6) 控え場所では・・・

- ① 三つの密を意識し、人と人との間隔を十分にとる。
- ② 通常の大会とは異なるため、不要な会話は控える。大声を出さない。
- ③ 定期的に、うがいと手洗いを行う。(午前と午後で最低2回ずつは行う。)
- ④ 万が一、体調に異変を感じたら、すぐに引率顧問の先生へ申し出る。
- ⑤ 滞在が長時間にわたる場合は、「スタンド」と「2階エントランス」で入れ替えを行いながら滞在場所の環境を変える。また、換気に十分配慮する。

(7) W-u p

- ① 1つのレーンに密集することが考えられる。泳ぐ際は、前の人との間隔を十分にとる。
- ② ダッシュレーンに並ぶ際は、前の人との間隔は最低でも1～2m程度あける。
- ③ メインプール・サブプールともに、上記①②を守る。その他、当日の指示事項に従う。

(8) 開会式（閉会式）

留意事項		主催者（各競技専門部等）の対策
競技運営	開閉式	<ul style="list-style-type: none">○ 原則として実施しない。（実施する場合には、人数削減や時間短縮を工夫）○ 指示伝言がある場合は、マイクや拡声器を利用するなど工夫する。
	競技実施中	<ul style="list-style-type: none">○ 試合時間の短縮や感染症対策に係る独自ルールを工夫する。 【感染症対策に係る工夫の例】<ul style="list-style-type: none">・ベンチや待機場所での密集を避け、人と人の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保する。・競技中の握手やハイタッチを控える。・円陣を組む時は間隔を確保し、密集を避ける。・唾や痰を吐くことは極力行わない。
	応援等	<ul style="list-style-type: none">○ 応援者の間隔は、できるだけ2mを目安に（最低1m）確保するよう周知する。○ 大きな声で会話や、応援はしないよう周知する。
	事故対応	<ul style="list-style-type: none">○ 事前に医療体制を確保するとともに、当日の事故対応については医療機関と連携し速やかに対応する。○ 状況の把握と対応に努め、場合によっては大会の中止や延期を決定する。

留意事項		参加者（生徒・指導者等）の対策
競技実施中		<ul style="list-style-type: none">○ 主催者が決定した感染症対策における競技運営について遵守する。○ けがや事故が発生した場合、すぐに指導者から競技本部に報告し適切な対応をする。

- 上記のとおり。伝達事項等がある場合は、短時間で工夫して行う。

(9) 招集所では・・・

- 上記（8）のとおり。人との間隔・発声・換気に十分注意する。

(10) 応援

- 上記（8）のとおり。人との間隔・発声に十分注意する。

(11) 食事

- ① 飲食物を手にする前に、うがい・手洗い・手指消毒を行う。
- ② 食事は、指定された場所以外で行わない。
- ③ 周囲の人となるべく距離を取り、対面を避ける。会話は控えめにする。
- ④ 飲食時は他人と取り分けず、回し飲みをしない。
- ⑤ ゴミは持ち帰る。

(12) 清掃

- ① 大会最終日に、通常の大会運営と同様に清掃を行う。割り当てられた場所を清掃する。
- ② 清掃中も、人と人との間隔を十分にとる。会話も控える。
- ③ 清掃後は、うがい・手洗い・手指消毒を行う。

(13) ミーティング

- ① 出来る限り、行わない。
- ② 引率顧問の先生の指示に従う。

(14) 解散

- ① 速やかに大会会場を後にする。
- ② 忘れ物に注意する。
- ③ (2) 集合 と同様に、帰宅時も十分注意する。

(15) その他

- ① 引率顧問の先生、競技役員、大会関係者についても、上記項目は選手と同様に行う。
- ② 朝の打合せ・パート別ミーティング・終礼については、短時間で工夫して行う。
- ③ 三つの密を意識し、人と人との間隔を十分にとる。換気・発声についても、十分注意する。
- ④ うがい・手洗い・手指消毒をこまめに行う。
- ⑤ 万が一、体調に異変を感じたら、大会本部へ申し出る。

4 【大会 後】大会開催後について

留意事項	主催者（各競技専門部等）の対策
大会開催後	○ 大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告があった場合や地域の生活圏において、感染拡大の可能性が報告された場合、開催自治体の衛生部局に直ちに報告する。

留意事項	参加者（生徒・指導者等）の対策
大会開催後	○ 大会開催後も自身の体調管理に努め、体調の異変があった場合は、医療機関や保健所に相談した上で適切に対応し、参加校から大会本部等に報告する。

【参考資料】

- ・公益財団法人 日本スポーツ協会
「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(概要)」
- ・茨城県教育庁学校教育部保健体育課
「代替大会の開催における感染拡大予防のための運営方針」
- ・茨城県水泳連盟 「大会開催に向けて(指針)」